

雪舟国際美術協会展について

展覧会には、無鑑査会員として出展しております。

今回も、槍ヶ岳を描きました。

夜明けの陽光で、白銀の輝き、冬季山稜は限りなく魅力的であり、複雑多岐でダイナミックな雪渓等、最後まで集中して筆を取った。

雪上をラッセルするがごとく槍の山嶺へ挑み、筆遣い、描写にいつもと違う力みを感じ取られるが、結果、これで良しとした。

アルピニストとしての気持ちは表現できたかと思われるが、鑑賞者のご感想を是非とも伺わせて戴きたい。展示会場では、来場者から自由なメッセージが、カード記入で作家へ述べられるようになっており、メッセージを楽しみに待ちたいものである。



「山嶺」(P50号 80×117cm)